

研 究 業 績 目 録

1997.4～1998.3

1. 本業績目録は各教官より提出されたものを収録した。
2. 収録期間は1997年4月から1998年3月までに刊行(発表)されたものとした。
3. 著者(発表者)名については、本短期大学部教官のみを挙げたが、筆頭者が短大外の場合は()をつけて表示した。

研究業績目録編集要綱

1. 本研究業績目録は、以下の分類により収録する。

- 1) 著 書：共著，分担執筆，訳書，共訳を含む。
- 2) 論 文 等：原著，総説，評論，短報，症例報告。
- 3) 学会発表等：抄録が公的な雑誌に掲載されているか，公的な抄録集が発行されているものとする。
- 4) 講 演：学会における特別講演，団体からの依頼講演。

2. 収録期間，収録範囲

- 1) 収録期間は本誌発行の前年度（4月1日～3月31日）とする。
- 2) 収録範囲は本学部に在籍中に公表したのものとする。

3. 業績目録記載方法

1) 著書および論文等

著者：本学教官以外の著者名は筆頭のみ（ ）で記し，それ以外は省略する。
その他は紀要の論文記載要領に準じる。

2) 学会発表等

発表者（(3. 1)に準じて記載），題名，発表学会，学会年月を記載する。

3) 講演

講演者，題名，講演集会名，講演年月，講演都市名を記載する。

I. 著 書

著 者 名	書 名	発 行 者	発行年
1. 川田智恵子	健康を求めて健康の増進と幸福 現代幸福論(吉川弘文編) P119-139	東京大学出版会 (東京)	1997
2. 川田智恵子	健康教育論 —これからの健康教育, ヘルスプロモーション にむけて— 健康教育大要 健康福祉活動の教育的側面に関する指針 (石井敏弘編) P 3-11	ライフ・サイエンス・ センター (東京)	1998
3. 加藤久美子	2. 学生の人的成長を援助することを通して患 者理解を可能にした看護教育カウンセリング 3. ターミナル期にある癌患者の看護カウンセリ ングに対するスーパービジョン ケアの質を高める看護カウンセリング (飯田澄美子, 貝藤隆子編者) P174-183 P184-P198	医歯薬出版 KK (東京)	1997
4. (塩田知己), 浅利正二, 他	血液成分, エンドセリンおよび血性髄液による 細胞外基質を介した収縮における PKC と cAMP の役割について 脳血管攣縮 12 齊藤 勇, 太田富雄(編) P17-25	中外医学社 (東京)	1997
5. (伊達 勲), 浅利正二, 他	Corrosion cast technique を用いた hemolysa- te によるラット血管攣縮脳底動脈の観察 脳血管攣縮 12 齊藤 勇, 太田富雄(編) P192-196	中外医学社 (東京)	1997
6. (小野成紀), 浅利正二, 他	ラットくも膜下出血後の攣縮脳底動脈における 転写因子発現の経時的变化について 脳血管攣縮 12 齊藤 勇, 太田富雄(編) P224-228	中外医学社 (東京)	1997
7. (小野田恵介), 浅利正二, 他	サル脳血管攣縮モデルに対する遺伝子治療の試み 脳血管攣縮 12 齊藤 勇, 太田富雄(編) P281-285	中外医学社 (東京)	1997

8. 廣田和弘	医療技術者のための凶解生命の化学	大学教育出版	1997
9. 杉田勝彦, 他	医用放射線辞典増補 2版	共立出版株式会社 (東京)	1997
10. 川崎祥二, 澁谷光一, 他	重粒子線照射による放射線損傷からの回復に関する研究 平成8年度放射線医学研究所重粒子線がん治療 等共同利用研究報告書 P110-111	放射線医学研究所	1997
11. 川崎祥二	放射線の物理・化学 基礎放射線医学(岡田 茂編) P 2-20	岡山大学アイソトープ 総合センター	1997

Ⅱ. 論文等

著者名	論 題	雑 誌 名	発行年
1. (森 操代), 近藤益子, 太田武夫, 他	口腔腫瘍術後患者の摂食障害に対す るとろみ食の導入	岡大医短紀要 8 : 131-136	1997
2. 太田武夫, 下石靖昭, 景山甚郷, 渋谷光一, 唐下博子, 遠藤 浩	進路指導を行う高校教師の看護職 についての認識	岡大医短紀要 8 : 43-48	1997
3. (呉 鶴), 川田智恵子, 他	日本の高校生における薬物使用の 実態と薬物使用と飲酒・喫煙との 関係	保健の科学 39 : 421-426	1997
4. 川田智恵子	健康教育から薬物乱用予防を考 える	保健の科学 39 : 864-867	1997
5. (田村 誠), 川田智恵子	死因リスクの確率認知の構造に 関する調査研究	日本公衛誌 44 : 558-567	1997
6. (善福正夫), 川田智恵子	学生における健康習慣と主観的 健康状態の関連性に関する研究	学校保健研 39 : 325-332	1997
7. (善福正夫), 川田智恵子	大学アメリカンフットボール男子 部員の身体的・精神的訴えに関 わる要因の検討	学校保健研 39 : 432-437	1997

8.	(安酸史子), 川田智恵子	食事自己管理の自己効力に関する糖尿病患者の 認知と専門家の判断の比較	日本糖尿病教育・ 看護学会誌 1:96-103	1997
9.	(河口てる子), 川田智恵子	インスリン依存型糖尿病患者の自尊感情と糖尿 病コントロールの関係	日本糖尿病教育・ 看護学会誌 1:104-110	1997
10.	川田智恵子	健康教育におけるヘルスプロモーション	看護研究 30:3-7	1997
11.	川田智恵子, 他	保健医療福祉領域での生活に関わるスケールの 考案・開発と方法の理論化	平成7-9年度科研 費補助金研究成果報 告書 1-97	1998
12.	加藤久美子	看護学概論の展開—第2報「われ—なんじ」の 関係を理解するための看護教育面接	岡大医短紀要 8:49-59	1997
13.	加藤久美子	カウンセリングマインドが生まれるのを助ける 看護学概論の授業	保健の科学 39:593-598	1997
14.	(伊達 勲), 浅利正二, 他	海綿静脈洞部巨大動脈瘤の外科治療	脳卒中の外科 25:140-147	1997
15.	浅利正二	特集 くも膜下出血—基礎から臨床まで—, 未破裂脳動脈瘤の自然歴	循環科学 17:468-471	1997
16.	(河内正光), 浅利正二, 他	嗅神経機能を保存する transbasal approach —解剖学的構造と嗅覚保存の関連性を中心に—	Video Journal of Japan Neurosurg- ery 5	1997
17.	(伊達 勲), 浅利正二, 他	カプセル化 NGF 産生細胞脳内移植の長期効 果:1年間の観察	神経組織の成長・ 再生・移植 9:81-82	1997
18.	(河内正光), 浅利正二, 他	嗅神経系を保存する frontal transbasal approach —解剖学的構造と嗅覚保存の関連性を中心に—	脳神経外科 25:613-619	1997

- | | | | | |
|-----|---|--|--|------|
| 19. | (半田仁美), 浅利正二,
他 | Flow fourier 法による流速測定とその応用について | 岡山 MR 研究会誌
7 : 21-25 | 1997 |
| 20. | (Shigeki Ono),
Shoji Asari, et al. | Three-dementional analysis of vasospastic major cerebral arteries in rats using corrosion cast technique | Stroke
26 : 1631-1638 | 1997 |
| 21. | (伊藤隆彦), 浅利正二,
他 | Spiral scan を用いた motor function MRI | 日本臨床
55 : 1679-1683 | 1997 |
| 22. | (西尾晋作), 浅利正二,
他 | 頭部外傷モデルにおけるフリーラジカルの発生—電子スピン共鳴法による OH ラジカルの検出— | Neurotraumatology
19 : 74-78 | 1997 |
| 23. | (Kimihiisa Kinoshita),
Shoji Asari, et al. | Proton MR spectroscopy of delayed cerebral radiation in monkeys and humans after brachytherapy | AJNR Am J
Neuroradiol
18 : 1753-1761 | 1997 |
| 24. | (相原 寛), 浅利正二,
他 | EPSTAR を用いた non-invasive perfusion weighted imaging | 岡山 MR 研究会誌
8 : 35-38 | 1998 |
| 25. | 林 優子 | 腎移植後における対処および対処に影響を及ぼす要因の検討 | 臨床透析
13 : 117-120 | 1997 |
| 26. | 林 優子 | 腎移植看護における看護婦の役割とその位置づけ | 岡大医短紀要
8 : 7-16 | 1997 |
| 27. | 林 優子 | 腎移植後レシピエント QOL 因果モデルの構成要素とレシピエント特性との関係 | 岡大医短紀要
8 : 61-68 | 1997 |
| 28. | 林 優子, 佐藤美恵,
他 | 手術を受ける患者の術前不安の理解と看護援助—受け持った手術患者の事例研究を通して学生が学んだこと— | 岡大医短紀要
8 : 137-146 | 1998 |
| 29. | (加藤晶子), 林 優子,
他 | 肺気腫患者の VRS 手術前後に示す反応—リハビリ, 活動, 手術に焦点を当てて— | 岡大医短紀要
8 : 157-164 | 1998 |
| 30. | 太田にわ, 他 | 病児に付き添う母親の「気がかり」からみた家族アセスメント | 看護研究
30(4) : 59-68 | 1997 |

- | | | | | |
|-----|---|---|------------------------------|------|
| 31. | (根本浩江),
太田にわ, 他 | 看護学生の援助行動
—共感性と援助規範意識との関連について— | 岡山県看護教育研究会
平成8年度
16-21 | 1997 |
| 32. | (前田真紀子),
太田にわ, 他 | 3年課程の看護学生が持つ伝統的「家」制度意識 | 岡山県看護教育研究会
平成8年度
16-21 | 1997 |
| 33. | 太田にわ | 心疾患患児出産後における母子愛着形成に及ぼす配偶者の支援 | 日本小児看護研究会誌
6(2):62-69 | 1997 |
| 34. | (木村美代子),
太田にわ | おむつはずしが日常生活動作(ADL)に及ぼす効果 | 看護技術
43(10):100-104 | 1997 |
| 35. | 太田にわ | 家族に関心を寄せて | Quality Nursing
vol 3 55 | 1997 |
| 36. | 太田にわ, 池田敏子,
大井伸子, 景山甚郷,
金尾直美, 小林 有,
林 優子 | 学生の自己評価による成人看護実習の到達度
—3週後・5週後の自己評価結果の分析— | 岡大医短紀要
8:147-155 | 1998 |
| 37. | 池田敏子 | 看護教育におけるカリキュラム別の基礎看護教育の変遷
—17年間の学生の自己評価の分析— | 岡大教育学研究科修士論文 | 1997 |
| 38. | (安藤佐記子),
池田敏子, 他 | 高齢者の主観的幸福感と看護者から見たイメージに関する検討
—コミュニケーション能力について80歳代と90歳代を比較して— | 岡山県看護教育研究会誌
:28-35 | 1997 |
| 39. | 猪下 光 | 看護職における離職の実態及び離・転職願望と諸要因との関係 | 岡大医短紀要
8:69-75 | 1997 |
| 40. | 猪下 光 | 看護職のキャリア意識に関する横断的研究 | 岡山大学文化科学研究科紀要
4:193-207 | 1997 |
| 41. | 大井伸子 | 高齢者介護の様態に関する地域間比較 | 人間科学論究
6:115-133 | 1998 |

- | | | | | |
|-----|---|---|--------------------------------------|------|
| 42. | 保科英子, 太田にわ,
太田武夫 | 看護学生の食品摂取量と栄養摂取状況 | 岡大医短紀要
8 : 77-84 | 1997 |
| 43. | 渡辺久美, 近藤益子,
太田にわ, 池田敏子,
前田真紀子, 太田武夫 | 看護学生の老人施設実習前後の老人のイメージ | 岡大医短紀要
8 : 85-90 | 1997 |
| 44. | (数野 博), 頓宮廉正,
他 | 福山市の1男性から駆出された裂頭条虫について | 岡大医短紀要
8 : 17-22 | 1997 |
| 45. | (斎藤哲郎), 頓宮廉正,
他 | ネコから吐出された <i>Nibelinia surmenicola</i> の擬充尾虫 | 岡大医短紀要
8 : 165-168 | 1997 |
| 46. | (Jun Maki),
Yasumasa Tongu,
<i>et al.</i> | Studies on alterations in acid phosphatase activity, body weight and ultrastructure of adult <i>Angiostrongylus cantonensis</i> in rats treated with flubendazole at a subcurative dose | Trop. Med.
39(3/4) : 95-100 | 1998 |
| 47. | (斎藤哲郎), 頓宮廉正,
他 | 広島県福山市における飼育犬および飼育猫の外部寄生虫感染状況 | JVM
51(10) : 807-810 | 1998 |
| 48. | Hiroshi Nagata | Kernvorto-parametro en genera gramatiko : apliko al eldiroj de infanoj denaske lernantaj Esperanton | Scienca Revuo
48 : 34-43 | 1997 |
| 49. | Hiroshi Nagata | Anchoring effects in judging grammaticality of sentences violating the subadjacency condition. | Psychologia
40 : 163-171 | 1997 |
| 50. | Hiroshi Nagata | A contrast effect in judging the grammaticality of sentences violating the subadjacency condition. | Percept. Mot. Skills
86 : 467-475 | 1998 |
| 51. | 合田典子, 白井喜代子,
岡崎愉加 | 妊産婦の自覚疲労について | 岡山県母性衛生
14 : 18 | 1998 |
| 52. | 岡崎愉加, 合田典子,
白井喜代子 | 退院から1ヵ月健診までの褥婦と新生児の問題 | 岡大医短紀要
8 : 97-106 | 1998 |

- | | | | | |
|-----|--|---|--|------|
| 53. | 中田安成, 他 | サルコイドーシスにおける臓器移植
—病原体移入の可能性について：文献的考察— | 日本胸部臨床
59 : 309-316 | 1997 |
| 54. | 岡本 基, 他 | 睡眠ポリグラフ自動解析のための記録・解析条
件の検討 | 岡大医短紀要
8 : 23-29 | 1997 |
| 55. | (佐藤圭子), 岡本 基,
他 | 側頭葉てんかんの海馬萎縮と臨床像の検討
—MRI を用いた海馬萎縮の簡易評価— | 岡大医短紀要
8 : 31-35 | 1997 |
| 56. | (新居志郎), 赤塚和也,
他 | ヒト β ヘルペスウイルスの構造と成熟 | 日本臨床
56 : 22-28 | 1998 |
| 57. | 崎山順子, 遠藤 浩,
他 | マイクロウェーブ照射を利用したクリューバ
ー・パレラ染色変法 | 岡大医短紀要
8 : 107-112 | 1997 |
| 58. | (Masahiro Nishibori),
Shuji Mori, et al. | Immunohistochemical localization of macro-
phage migration inhibitory factor (MIF) in
tanocytes, subcommisural organ and choroid
plexus in the rat brain | Brain Res
758 : 259-262 | 1997 |
| 59. | (Mitsuyo Okazaki),
Sekiko Itoh | Quantitative detection method of triglycer-
ides in serum lipoproteins and serum-free
glycerol by high-performance liquid
chromatography | J chromatogra B
709 : 179-187 | 1998 |
| 60. | (Eiichi Makihata),
Shoji Kawasaki,
et al. | Preoperative multidisciplinary treatment
wiht hyperthermia for soft tissue sarcoma | Acta Medica
Okayama
51 : 93-99 | 1997 |
| 61. | (黒田昌宏), 川崎祥二,
他 | Mn-SOD 遺伝子導入による腫瘍細胞の変化と
放射線感受性の変化の関係 | フリーラジカルの臨
床
11 : 68-73 | 1997 |
| 62. | (Koji Nishikawa),
Shoji Kawasaki,
et al. | Influence of cepharanthin on the intracellular
accumulation of adriamycin in normal liver
cells and spleen cells of mice in vitro and in
vivo | Anticancer
Research
17 : 3617-3622 | 1997 |
| 63. | (Koji Nishikawa),
Shoji Kawasaki,
Koichi Shibuya, et al. | Influence of Extracellular Ion Concentration
on the Intracellular Accumulation of
Adriamycin | Anticancer
Research
18 : 915-918 | 1998 |

- | | | | | |
|-----|--|--|---|------|
| 64. | (Koji Nishikawa),
Shoji Kawasaki,
Koichi Shibuya, et al. | Influence of Cepharanthin and Hyperthermia on the Intracellular Accumulation of Adriamycin and Fluo3, an Indicator of Ca ²⁺ | Anticancer Research
18 : 1649-1654 | 1998 |
| 65. | 中桐義忠, 東 義晴,
澁谷光一, 後藤佐知子,
丸山敏則, 杉田勝彦,
他 | 電子線治療における骨の線量分布に対する影響に関する検討 | 岡大医短紀要
8 : 37-42 | 1997 |
| 66. | (山本尚武), 中村隆夫,
他 | 多チャンネルインピーダンス測定による嚥下活動の検討 | 厚生省長寿科学総合
研究平成8年度研究
報告書
7 : 92-98 | 1997 |
| 67. | (山本尚武), 中村隆夫,
他 | 嚥下活動計測のための頸部電気インピーダンス | 電気学会論文誌A
118-A : 210-217 | 1998 |
| 68. | (皿井孝明), 東 義晴,
他 | 顎関節のかみしめ時における応力解析 | 日本機械学会論文集
(A編)
64 : 99-103 | 1998 |
| 69. | 東 義晴 他 | MRI 画像解析による顎関節の形態評価 | 日本機械学会論文集
(C編)
64 : 288-293 | 1998 |
| 70. | (Michinori
Yamamoto),
Koichi Shibuya,
Shoji Kawasaki,
et al. | Does Cepharanthin affect the thermal response? | HYPERTHERMIC
ONCOLOGY IN
JAPAN '97
133-134 | 1997 |
| 71. | Koichi Shibuya,
Shoji Kawasaki,
et al. | Effects of PKC inhibitors on the development of thermotolerance on tsAF8 cells | HYPERTHERMIC
ONCOLOGY IN
JAPAN '97
202-203 | 1997 |
| 72. | (Masahiro Kuroda),
Koichi Shibuya,
Shoji Kawasaki,
et al. | The effect of MnSOD gene overexpression on hyperthermia | HYPERTHERMIC
ONCOLOGY IN
JAPAN '97
216-217 | 1997 |

- | | | | | |
|-----|---|--|-----------------------------|------|
| 73. | (黒田昌宏), 澁谷光一,
川崎祥二, 他 | Mn-SOD 遺伝子導入による腫瘍細胞の変化と
放射線感受性の変化との関連 | フリーラジカルの臨
床
11: 68-73 | 1997 |
| 74. | 澁谷光一, 東 義晴,
後藤佐知子, 丸山敏則,
中桐義忠, 杉田勝彦,
他 | 自作ファントムによる硫酸バリウム製剤の濃度
及び混合比の検討 | 岡大医短紀要
8: 113-119 | 1997 |
| 75. | Toshihiro Maruyama,
Sachiko Goto,
Yoshiharu Azuma,
Yoshitada Nakagiri,
Koichi Shibuya,
Katushiko Sugita,
et al. | The Influence of Film Processing Tempera-
ture and Time on Mammographic film Char-
acteristics | 岡大医短紀要
8: 121-129 | 1997 |
| 76. | 丸山敏則, 後藤佐知子,
東 義晴, 中桐義忠,
杉田勝彦 | マンモグラフィ用フィルムにおける
Extended-cycle Process の基礎的研究
—コントラスト, 相対感度— | 日放技会誌
53: 1697-1704 | 1997 |

Ⅲ. 学会発表等

演 者	演 題	学 会 名	開催年月	開催場所
1. 川田智恵子, 他	企業従業員の保健行動とライフスタイルに関する研究	第6回日本健康教育学会	1997. 5	北九州
2. (吉本照子), 川田智恵子	在宅高齢者の保健行動と外出行動および交通環境の関連	第6回日本健康教育学会	1997. 5	北九州
3. (片山千栄), 川田智恵子, 他	食品の表示に対する消費者の態度とその関連要因 —都市部在住の成人女性に対する調査から—	第6回日本健康教育学会	1997. 5	北九州

- | | | | | |
|---|--|---|---------|--------|
| 4. (片山千栄),
川田智恵子, 他 | 食品の表示に対する消費者の期待・意味づけ
—都市部在住の成人女性に対する調査から— | 第56回日本公衆衛生学会 | 1997.10 | 横浜 |
| 5. (一戸真子),
川田智恵子 | 生活行動パターンと医療における自己決定との関連 | 第62回日本民族衛生学会 | 1997.11 | 前橋 |
| 6. 加藤久美子 | 「われなんじ」の関係と看護教育 | 第62回日本民族衛生学会 | 1997.11 | 前橋 |
| 7. (Isao Date),
Shoji Asari, et al. | Long-term outcome of surgical treatment of intracavernous giant aneurysm | The 5th International Workshop on Cerebrovascular Surgery | 1997. 4 | 博多 |
| 8. (Tetuo Makabe),
Shoji Asari, et al. | Functional MRI studies of lexical processing using Japanese Kanji and Kana characters | International Society for Magnetic Resonance in Medicine, Fifth Scientific Meeting and Exhibition | 1997. 4 | バンクーバー |
| 9. (Kimihiisa
Kinoshita),
Shoji Asari, et al. | Proton magnetic resonance spectroscopic study of delayed cerebral radiation necrosis in monkeys and humans after brachytherapy | International Society for Magnetic Resonance in Medicine, Fifth Scientific Meeting and Exhibition | 1997. 4 | バンクーバー |
| 10. (Hitomi Handa),
Shoji Asari, et al. | Quantitative blood flow measurement with phase contrast method
—Experimental study with phantom model and clinical study of patients with occlusive disease of cervical arteries— | International Society for Magnetic Resonance in Medicine, Fifth Scientific Meeting and Exhibition | 1997. 4 | バンクーバー |
| 11. (伊達 勲),
浅利正二, 他 | カプセル化ドーパミン産生細胞の脳内移植：パーキンソン病の治療をめざして | 第5回カテコールアミンと神経疾患研究会 | 1997. 4 | 東京 |

- | | | | | |
|---|---|---|---------|---------|
| 12. (小野成紀),
浅利正二, 他 | 脳血管攣縮と転写因子 | 岡山 Vascular Biology 研究会 | 1997. 4 | 岡山 |
| 13. (伊達 勲),
浅利正二, 他 | カプセル化した神経成長因子 (NGF) 産生細胞内移植の長期効果 | 第5回細胞療法研究会 | 1997. 4 | 東京 |
| 14. (Shigeki Ono),
Shoji Asari, et al. | In vivo analysis of transcription factors in rat basilar artery with cerebral vasospasm after subarachnoid hemorrhage | 6th International Conference on Cerebral Vasospasm | 1997. 5 | シドニー |
| 15. (Isao Date),
Shoji Asari, et al. | Quantitative and qualitative analysis of hemolysate-induced cerebral vasospasm in rats using corrosion cast technique | 6th International Conference on Cerebral Vasospasm | 1997. 5 | シドニー |
| 16. (Keisuke Onoda),
Shoji Asari, et al. | Attempted gene therapy for monkey vasospasm model | 6th International Conference on Cerebral Vasospasm | 1997. 5 | シドニー |
| 17. (Masamitsu
Kawauchi),
Shoji Asari, et al. | Effect of hypothermia and rewarming on cerebral electrophysiological function in transient ischemia | 10th International Symposium on Intracranial Pressure | 1997. 5 | ヴァージニア |
| 18. (Masatoshi Yunoki),
Shoji Asari, et al. | Effects of lecithinized SOD on sequential change in SOD activity after cerebral contusion in rats | 10th International Symposium on Intracranial Pressure | 1997. 5 | ヴァージニア |
| 19. (Yasuhiro Noguchi),
Shoji Asari, et al. | Effects of brain surface cooling of cerebral ischemia in cats | 10th International Symposium on Intracranial Pressure | 1997. 5 | ヴァージニア |
| 20. (中嶋裕之),
浅利正二, 他 | 眼窩内 hemorrhagic lymphangioma の1例 | 第25回日本小児神経外科学研究会 | 1997. 5 | 久留米 |
| 21. (Tetuo Makabe),
Shoji Asari, et al. | Functional MRI studies of lexical processing using Japanese Kanji and Kana characters | Third International Human Brain Mapping | 1997. 6 | コペンハーゲン |
| 22. (中嶋裕之),
浅利正二, 他 | 頭蓋内上衣腫の脊椎管内 drop metastasis の3例 | 第12回日本脊髄外科研究会 | 1997. 6 | 大阪 |

23. (田宮 隆), 浅利正二, 他	海綿静脈洞に進展した巨大下垂体腺腫 に対する extradural tempolopolar approach	第9回日本頭蓋底外 科研究会	1997. 6	札幌
24. (中嶋裕之), 浅利正二, 他	巨大斜台部脊索腫の1例	第9回日本頭蓋底外 科研究会	1997. 6	札幌
25. (伊達 勲), 浅利正二, 他	カプセル化 NGF 産生細胞脳内移植の 長期効果: 1年間の観察	第12回神経組織の成 長・再生・移植研究 会	1997. 6	京都
26. (相原 寛), 浅利正二, 他	EPSTAR を用いた non-invasive perfusion weighted imaging	第15回岡山 MR 研 究会	1997. 7	岡山
27. (中島正明), 浅利正二, 他	脳血管攣縮における加齢の影響 —塩酸パパペリンに対する反応性の相 違による影響—	第13回スパズム・ シンポジウム	1997. 7	京都
28. (小野成紀), 浅利正二, 他	脳脊髄液を介した NFkB おとり核酸 による脳血管攣縮の遺伝子治療	第13回スパズム・ シンポジウム	1997. 7	京都
29. (柚木正敏), 浅利正二, 他	脳挫傷後 SOD 活性に対するレシチン 化 SOD の効果	第8回中国四国生体 ラジカル研究会	1997. 8	岡山
30. (Masaaki Nakajima), Shoji Asari, et al.	Effect of aging on cerebral vasospasm after subarachnoid hem- orrhage in rabbits	ASITN / WFITN (American Society of Interventional and Therapeutic Neuroradiology / World Federation of Interventional and Therapeutic Neuroradiology), Scientific Confer- ence 1997	1997. 9	ニューヨーク
31. 浅利正二, 他	未破裂脳動脈瘤の自然歴からみた手術 適応基準	第56回日本脳神経外 科学会総会	1997.10	大阪
32. (柚木正敏), 浅利正二, 他	脳挫傷後 SOD 活性に対するレシチン 化 SOD の効果	第56回日本脳神経外 科学会総会	1997.10	大阪

33. (半田仁美), 浅利正二, 他	Phase contrast 法による血流測定における撮像条件の検討とその臨床的有用性について	第56回日本脳神経外科学会総会	1997.10	大阪
34. (伊藤隆彦), 浅利正二, 他	高解像度 MRA による内頸動脈瘤の検出 —Dural ring との位置関係の検討—	第56回日本脳神経外科学会総会	1997.10	大阪
35. (小野成紀), 浅利正二, 他	NFkB オリゴ DNA-リポソーム複合体による脳血管攣縮の遺伝子治療	第56回日本脳神経外科学会総会	1997.10	大阪
36. (柚木正敏), 浅利正二, 他	脳挫傷後における SOD 活性および Cu, Zn-SOD mRNA 発現の経時的変化の検討	第9回日本脳循環代謝学会総会	1997.11	東京
37. (真壁哲夫), 浅利正二, 他	脳 functional MRI による日本語の読みと語彙記憶の機構	第21回日本脳神経 CI 学会総会	1998. 2	札幌
38. (相原 寛), 浅利正二, 他	虚血性脳血管疾患における血行再建術前後の MR perfusion image による評価	第21回日本脳神経 CI 学会総会	1998. 2	札幌
39. (伊藤隆彦), 浅利正二, 他	Gd-DTPA を用いた高分解能 MRA による内頸動脈瘤の描出	第21回日本脳神経 CI 学会総会	1998. 2	札幌
40. (柚木正敏), 浅利正二, 他	脳挫傷後 CuZn-SOD mRNA の発現について —in situ hybridization による検討—	第21回日本神経外傷研究会	1998. 3	京都
41. (河口てる子), 林 優子, 他	患者教育における行動変容への「とっかかり行動」と「看護ケア」の検討	第17回日本看護科学学会	1997.12	東京
42. (前田真紀子), 太田にわ, 他	3年課程の看護学生が持つ伝統的「家」制度意識	第28回日本看護学会集録看護教育	1997. 8	大阪
43. (渡辺裕子), 太田にわ, 他	小児看護に従事する看護婦が認識する家族援助の困難性	第4回日本家族看護学会	1997. 9	愛知
44. 太田にわ, 他	小児看護領域における看護婦の家族援助に関する判断	第4回日本家族看護学会	1997. 9	愛知

45. 太田にわ, 他	岡山市における乳幼児の母親のストレスと家族特性に関する研究	第4回岡山県保健福祉学会	1998. 2	岡山
46. 猪下 光	看護職における職業性ストレス認知の継時的推移より分析した看護職のキャリア形成	第28回日本看護学会 —看護管理—	1997. 9	千葉
47. 猪下 光, 池田敏子, 中西代志子, 渡辺久美, 太田にわ, 近藤益子	高齢者の「おしゃれと身だしなみ」の意識と行動および諸要因との関係	第28回日本看護学会 —老人看護—	1997.10	愛媛
48. Nobuko Ohi, Niwa Ohta, et al.	The analysis on the child support in the community	Second Asian Pacific Paediatric Nursing Conference	1997. 9	Singapore
49. 大井伸子	地域における高齢女性の生活行動と介護役割 —水戸市内一地区を事例として—	第38回日本母性衛生学会	1997.10	鹿児島
50. 大井伸子, 他	女子大学生の母性意識の発達についての一考察	第38回日本母性衛生学会	1997.10	鹿児島
51. 中西代志子, 池田敏子, 渡辺久美, 太田にわ	高齢者の生きがいの変化に関する研究 —退院後1年間の追跡調査より—	日本老年看護学会 第2回学術集会	1997.11	東京
52. 中西代志子, 林 優子, 金尾直美, 渡辺久美, 保科英子	腎臓と医療に不満を抱く腎移植者6事例の分析	第5回臨床看護研究学会	1998. 3	岡山
53. (近藤由紀子), 保科英子, 他	オストメイトケアの問題点と今後の方向性	第15回日本ストーマリハビリテーション学会	1998. 2	横浜
54. 渡辺久美, 池田敏子, 中西代志子, 猪下 光, 他6名	老人の退院時における生きがいと生活行動および生活信条との関連	第28回日本看護学会 (老人看護)	1997.10	愛媛

- | | | | | | |
|-----|---|---|---|---------|-------------------|
| 55. | 渡辺久美, 林 優子,
中西代志子,
金尾直美, 保科英子 | 腎移植後人生に対する感じ方が否定的
に変化した3事例 | 第5回臨床看護研究
学会 | 1998. 3 | 岡山 |
| 56. | (Setuo Suguri),
Yasumasa Tongu,
et al. | Nucleotide sequences of a segment
of COI genes of <i>Dirofilaria immitis</i>
and <i>Paragonimus mexicanus</i> | 第66回日本寄生虫学
会大会 | 1997. 4 | 千葉 |
| 57. | 合田典子,
白井喜代子,
岡崎愉加 | 妊産婦の自覚疲労について | 第14回岡山県母性衛
生学会 | 1997.11 | 岡山 |
| 58. | (Mikio Kataoka),
Yasunari Nakata,
et al. | Familial occurrence of sarcoidosis in
Japan and analysis of genetic influ-
ence | International Cong-
ress on Sarcoidosis,
Granulomatous
and Vasculitic Dis-
orders. 5 th WASOG
Meeting | 1997. 9 | Essen,
Germany |
| 59. | (Junichi Hiramatu),
Yasunari Nakata,
et al. | DNA of Propionibacterium acnes in
BAL cells in sarcoidosis patients
detected by nested PCR | International Cong-
ress on Sarcoidosis,
Granulomatous
and Vasculitic Dis-
orders. 5 th WASOG
Meeting | 1997. 9 | Essen,
Germany |
| 60. | (平松順一),
中田安成, 他 | サルコイドーシスの経過中に慢性リン
パ球性白血病と肺扁平上皮癌を合併し
た1例 | 第17回日本サルコイ
ドーシス学会総会 | 1997. 9 | 札幌 |
| 61. | (片岡幹男),
中田安成, 他 | シンポジウム サルコイドーシスの
病因論: サルコイドーシス病態への
Propionibacterium acnes の関与 | 第17回日本サルコイ
ドーシス学会総会 | 1997. 9 | 札幌 |
| 62. | (岡崎和徳),
中田安成, 他 | 皮下結節を呈したサルコイドーシスの
4例 | 第17回日本サルコイ
ドーシス学会総会 | 1997. 9 | 札幌 |
| 63. | (平松順一),
中田安成, 他 | PCR法, in situ hybridization 法によ
るサ症 BALF 中のDNA の検出 | 第38回日本呼吸器学
会総会 | 1998. 3 | 熊本 |

64. 岡本 基, 森 秀治	テクニカルセミナー「Primary culture による神経細胞の実験」	第24回岡山大学脳研 究セミナー	1997. 7	岡山
65. 岡本 基, 他	若年成人における覚醒時 α 波出現量 と徐波睡眠量の関係	第27回日本脳波一筋 電図学会	1997.11	福岡
66. Motoi Okamoto, Sekiko Ito, Shuji Mori, et al.	Facilitation of motor evoked potentials of magnetic peripheral nerve stimulation by voluntary muscle contraction	The Sixth International Evoked Potentials Symposium	1998. 3	Okazaki
67. (Naoki Nakaya), Junko Sakiyama, et al.	The Expression of a Serine Proteinase Inhibitor SPI-3 mRNA in Postnatal and in Ischemic Murine Brain	Society for Neuroscience	1997.10	New Orleans
68. 森 秀治, 岡本 基, 伊藤昔子, 一村光子, 唐下博子, 崎山順子, 中田安成, 遠藤 浩	組み換え型コア蛋白質および抗ペプチド抗体を用いたホスファカンの酵素免疫測定	第44回日本臨床病理 学会総会	1997.10	神戸
69. (安藤由智), 川崎祥二, 他	^{99m}Tc -MIBI, ^{99m}Tc -TF の Ehrlich 腹水癌薬剤耐性細胞における細胞内集積の検討	第56回日本医学放射 線学会総会	1997. 4	横浜
70. 川崎祥二, 湍谷光一, 他	重粒子線に対する NIH3T3 細胞の PLDR と細胞周期依存性	日本医学放射線学会 第36回生物部会学術 大会	1997. 4	横浜
71. (Yositomo Ando), Shoji Kawasaki, et al.	Intracellular accumulation of Tl-201 and Tc-99m MIBI in Ehrlich ascites tumor cells	44th Annual Meeting of Society of Nuclear Medicine	1997. 6	San Antonio (USA)
72. (堀 靖治), 川崎祥二, 他	マウス白血病細胞の殺細胞効果に対する温熱処理とアドリアマイシンの併用効果	第14回日本ハイパー サーマ学会	1997. 9	京都
73. 中村隆夫, 他	血管モデル内の血液の乱流状態における血液の電気インピーダンス	第36回日本 ME 学 会大会	1997. 5	松本

- | | | | | |
|--|---|--|---------|--------------|
| 74. (山本尚武),
中村隆夫, 他 | インピーダンス咽頭図(IPG)による嚥下活動の評価 | 第36回 日本 ME 学会大会 | 1997. 5 | 松本 |
| 75. (楠原俊昌),
中村隆夫, 他 | 嚥下活動評価のための多チャンネルインピーダンス測定による IPG の検討 | 電子情報通信学会 ME とバイオサイバネティックス研究会 | 1997. 7 | 徳島 |
| 76. 中村隆夫, 他 | 狭窄がある血管モデル内の流動血液の電気的特性と光学的特性 | 電子情報通信学会 ME とバイオサイバネティックス研究会 | 1997. 7 | 徳島 |
| 77. Takao Nakamura,
et al. | Optical and Electrical Impedance Characteristics of Flowing Blood in an Artificial Vessel | the World Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering | 1997. 9 | フランス
ニース |
| 78. (P. Åke Öberg),
Takao Nakamura,
et al. | Optical and Electrical Characteristics of Moving Erythrocytes | the 3rd International Conference on Cellular Engineering | 1997. 9 | イタリア
サンレモ |
| 79. (須古敏行),
中村隆夫, 他 | 顎部電気インピーダンスの同時測定による嚥下活動の検討 | 平成9年度電気・情報関連学会中国支部連合大会 | 1997.10 | 東広島 |
| 80. (楠原俊昌),
中村隆夫, 他 | 多チャンネルインピーダンス測定における生体の線形性についての検討 | 平成9年度電気・情報関連学会中国支部連合大会 | 1997.10 | 東広島 |
| 81. (楠原俊昌),
中村隆夫, 他 | 多チャンネルインピーダンス測定のための生体の線形性に関する検討 | 第20回 日本 ME 学会中国四国支部大会 | 1997.11 | 新居浜 |
| 82. 東 義晴, 他 | 顎関節の開口過程における MRI 画像解析 | 第10回バイオエンジニアリング講演会 | 1998. 1 | 広島 |
| 83. 澁谷光一, 川崎祥二,
他 | プロテインキナーゼ阻害剤の温熱耐性抑制効果 | 日本医学放射線学会第36回生物部会学術大会 | 1997. 4 | 横浜 |
| 84. (黒田昌宏),
澁谷光一, 川崎祥二,
他 | Mn-SOD 遺伝子治療のための基礎研究(第三報) | 日本医学放射線学会第36回生物部会学術大会 | 1997. 4 | 横浜 |

85.	澁谷光一, 川崎祥二, 他	温熱耐性発現における PKC 阻害剤の 影響	第14回日本ハイパー サーミア学会	1997. 9	京都
86.	(黒田昌宏), 澁谷光一, 川崎祥二, 他	MnSOD 遺伝子導入に伴う温熱療法の 効果の修飾	第14回日本ハイパー サーミア学会	1997. 9	京都
87.	(山本道法), 澁谷光一, 川崎祥二, 他	In vivo におけるセファランチンの温 熱増感効果, 温熱耐性抑制効果の検討	第14回日本ハイパー サーミア学会	1997. 9	京都
88.	(宮原智則), 澁谷光一, 中桐義忠, 他	自作ファントムによる硫酸バリウム製 剤の濃度および混合比の検討	日本放射線技術学会 中国・四国部会第38 回学術大会	1997. 9	高松
89.	(黒田昌宏), 澁谷光一, 川崎祥二, 他	Mn-SOD 遺伝子導入による温熱療法 の効果の修飾	第89回日本医学放射 線学会中国四国地方 会	1997.11	松江
90.	後藤佐知子, 丸山敏則, 東 義晴, 中桐義忠, 杉田勝彦, 他	X 線乳房撮影における Extended- cycle Process	日本放射線技術学会 第53回総会学術大会	1997. 4	横浜
91.	後藤佐知子, 丸山敏則, 東 義晴, 中桐義忠, 杉田勝彦, 他	マンモ用フィルムにおける粒状性の測 定	日本放射線技術学会 中国支部研究発表会	1997. 4	岡山

IV. 講 演

演 者	演 題	講 演 会 名	講演年月	場所
1. 川田智恵子	看護研究：問題意識の発生から研究計 画作成までのプロセス	岡山大学付属病院看 護部教育特別講演	1997. 5	岡山

2. 川田智恵子	The application of health promotion to patient education	International Symposium on Health Promotion (National School Health Association, Republic of China)	1997. 6	台北
3. 川田智恵子	健康教育の今後の課題	生涯学習研修会 (新潟県栄養士会)	1997. 7	新潟
4. 川田智恵子	健康教育の考え方とその評価について	熊本県・健康教育技術研修会	1997. 8	熊本
5. 川田智恵子	Diabetes education from perspective of health education	The 8th Korean Diabetes Educator Seminar (Korean Diabetes Association)	1997. 9	ソウル
6. 川田智恵子	健康教育の考え方とその評価について	福岡県・平成9年度 中堅保健婦研修会	1997.11	福岡
7. 川田智恵子	市民サービスの視点に立った地域保健活動の展開と行政の役割	横浜市・地域保健段階別研修会	1998. 1	横浜
8. 太田武夫	看護研究の進め方	岡山大学医学部附属 病院 三朝分院看護部 特別講演	1997. 7	三朝
9. 太田武夫	作業環境管理	岡山県医師会 倉敷市医師会産業医 研修会	1998. 2	倉敷
10. 池田敏子	看護技術の再考と看護判断	岡山県看護協会 専門性を高めるための 教育	1997. 8	岡山
11. 中田安成	サルコイドーシスの病因と臨床	香川県呼吸器懇話会	1997. 9	高松
12. 岡本 基	体と心のバランスでストレス解消	男女共生セミナー	1997. 8	玉野

- | | | | | |
|----------|-----------------|-----------------|---------|----|
| 13. 川崎祥二 | 温熱化学療法(基礎面) | 第9回ハイパーサーミア講習会 | 1997. 9 | 京都 |
| 14. 中桐義忠 | 放射線治療における技術的諸問題 | 日本放射線技師会中国地区研修会 | 1997. 9 | 松江 |